

## (5月29日) : VN 指数は動きの少ない中で横ばい

国内株式は動きが少なく、投資家は相場の支持材料を心待ちにしている状況であった。VN 指数は 0.46 ポイント (0.05%) 下落し 971.54 ポイントで取引を終えた。2 営業日続けての下落となった。

売買代金は 3.4 兆ドンで増加したが、出来高は 1 億 4530 万株で 4%ほど下落した。相対取引では 2500 万株 (7378 億ドン) が取り引きされた。

大型株の動きはまちまちだった。ビンググループ (VIC) は 1%上昇し 115,200 ドンで取引を終えた。サイゴンビールアルコール飲料総公社 (SAB) とベトコムバンク (VCB) は 0.5%弱上昇した。一方、ベトナム投資開発銀行 (BID) は 0.9%下落し 32,000 ドンで取引を終え、指数を最も押し下げた。

ハノイビールアルコール飲料総公社 (BHN) はストップ安の 99,000 ドンで取引を終えた。FLC ファロス建設 (ROS) は出来高が 1000 万株ほどで、1.3%安の 30,000 ドンで取引を終えた。

タンタオ不動産 (ITA)、アンファットプラスチックグリーン環境 (AAA) はそれぞれ 700 万株、670 万株ほどの出来高だった。AAA は 3.6%上昇し 18,350 ドンで取引を終えたが、ITA は変わらずの 3,280 ドンで取引を終えた。

ビグラセラ (VGC) は以前ハノイ取引所に上昇していたが、上場市場をホーチミン取引所に変更した。3%ほど上昇し 20,500 ドンで取引を終え、出来高は 200 万株以上だった。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.3 ポイント (0.28%) 上昇し 105.32 ポイントで取引を終えた。出来高は 2660 万株と 8%ほどげらくし、売買代金も 3070 億ドンと 17%ほど下落した。

バオベト証券によると、VN 指数は当面横ばいが続くとされる、次の方向感が決まるまでは 960-993 ポイントの間を上下するだろうとのことだった。

投資家は世界経済の行方を注視するべきで、特にブレイグジットと G20 が注目される。短期的には横ばいが予想されるが、現金比率の高い投資家は押し目買いをすることを勧めると語った。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。